

June 4, 2019

【前日の為替概況】ブラード総裁利下げ発言でドル全面安、対円 107.88 円、対ユーロ 1.1262 ドル

3日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは続伸。終値は1.1241ドルと前営業日NY終値(1.1169ドル)と比べて0.0072ドル程度のユーロ高水準だった。5月米ISM製造業景気指数が52.1と前月の52.8から悪化し2016年10月以来2年7カ月ぶりの低水準を付け、予想の53.0を下回るとユーロ買い・ドル売りが先行した。4月米建設支出が前月比横ばいと予想の前月比0.3%増を下回ったこともユーロ高・ドル安につながった。米連邦公開市場委員会(FOMC)で投票権を有するブラード米セントルイス連銀総裁が「近く利下げが適切になる可能性がある」との見解を示すと全般ドル売りが活発化し、1.1262ドルの高値を付けた。

米中の対立が深まる一方、米政府は先月末にメキシコにも関税を課すと表明。これまで堅調だった米景気も減速するとの見方が強まり、米長期金利は大きく低下した。市場では「米連邦準備理事会(FRB)が年内に2-3回利下げを実施する」との観測も出ている。

ドル円は続落。終値は108.07円と前営業日NY終値(108.29円)と比べて22銭程度のドル安水準だった。ダウ平均が一時120ドル超上昇したタイミングで円売り・ドル買いが出て、108.45円と日通し高値を付けた。ただ、ブラード総裁が利下げの可能性に言及すると、米長期金利が一段と低下しドル売りが活発化した。米10年物国債利回りが一時2.0590%前後と2017年9月上旬以来の低水準を付けるなか、ドル円は107.88円まで下落した。

ユーロ円は反発。終値は121.49円と前営業日NY終値(120.96円)と比べて53銭程度のユーロ高水準。安く始まった欧州株相場が持ち直したことで、投資家のリスク回避姿勢が和らぐと円売り・ユーロ買いが優勢に。ユーロドルの上昇につれた買いも入り、4時前に一時121.65円と日通し高値を付けた。

メキシコペソは軟調。トランプ米大統領の対メキシコ関税表明を受けて、通貨ペソを売る動きが継続した。ペソは対ドルで一時19.8799ペソと年初来安値を付けたほか、円に対しては5.43円と1月3日のフラッシュクラッシュ以来の安値を更新した。

【本日の東京為替見通し】豪準備銀行利下げ1.25%予想、追加利下げ言及に要注目か

本日の東京市場のドル円は、米中貿易戦争への警戒感、米連邦準備理事会(FRB)の利下げへの警戒感から上値が重い展開が予想される。

豪準備銀行(RBA)は、本日、政策金利を1.50%から1.25%に引き下げると予想されており、追加利下げが示唆された場合、豪ドル円の売りがドル円の上値を抑えることになる。

ドル円のテクニカル分析では、ダブル・トップ(112.14円・112.40円)を形成後、200日移動平均線を下抜けて「三役逆転」の売りの時代となり、窓(111.07円・110.96円)を空けて、ネック・ライン109.71円を下回り、最小目標値107.02円(109.71円- (112.40円-109.71円))を目指す下落トレンドを形成している。昨日の安値107.88円は、年初1月3日のフラッシュクラッシュ時の安値104.87円から4月24日の高値112.40円までの上昇幅の61.8%押し戻しの107.75円をほぼ達成したことになる。

今年の米連邦公開市場委員会(FOMC)で投票権を有するハト派のブラード米セントルイス連銀総裁が「近く利下げが適切になる可能性がある」と述べた。米30年債利回りは、2.52%台とFF金利誘導目標(2.25-2.50%)の上限を上回っているものの、3カ月物財務省短期証券から20年債までは、超過準備預金金利(IOER)の2.35%を下回っており、年内2回の利下げを織り込んでいる。

さらに、米中貿易戦争への警戒感から米国経済が減速する可能性、トランプ米大統領が2020年11月の大統領選挙での武器と目論んでいるニューヨーク株式市場の支援のため、連邦準備制度理事会(FRB)への利下げ圧力を強める可能性なども、ドル円の上値を抑えることになる。

米連邦準備理事会(FRB)は、本日も明日、シカゴ連銀で、金融政策の枠組みを見直す可能性について議論することで要注目か。カシユカリ米ミネアポリス連銀総裁は「FRBのこれまでの利上げは、完全雇用には達したという誤った判断を下した結果だった」と、現状の「2%の物価目標(インフレ・ターゲティング)」への懐疑的な見方を示唆している。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 5月マネタリーベース

<海外>

○08:01 ◇ 5月英小売連合（BRC）小売売上高調査（予想：前年同月比0.8%）

○10:30 ◇ 1-3月期豪経常収支（予想：25億豪ドルの赤字）

○10:30 ◇ 4月豪小売売上高（予想：前月比0.2%）

○13:30 ☆ 豪準備銀行（RBA）政策金利発表（予想：1.25%に引き下げ）

○15:45 ◇ 4月仏財政収支

○17:30 ◎ 5月英建設業購買担当者景気指数（PMI、予想：50.5）

○18:00 ◎ 4月ユーロ圏失業率（予想：7.7%）

○18:00 ☆ 5月ユーロ圏消費者物価指数（HICP）速報値（予想：前年比1.3%）

○18:00 ☆ 5月ユーロ圏HICPコア速報値（予想：前年比0.9%）

○18:30 ◎ 1-3月期南アフリカ国内総生産（GDP、予想：前期比年率▲1.7%/前年同期比0.7%）

○18:30 ◎ ロウRBA 総裁、講演

○21:30 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、あいさつ

○22:55 ☆ パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、あいさつ

○23:00 ◎ 4月米製造業新規受注（予想：前月比▲0.9%）

○4日 04:45 ◎ ブレイナードFRB理事、パネルディスカッションに参加

○米英首脳会談（ロンドン）

○トルコ（砂糖祭）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

3日 10:40 黒田日銀総裁

「低金利の実現で資金需要を掘り起こす効果あった」

「今後も金融緩和で経済回復と穏やかな賃金・物価の上昇を支えていく」

3日 10:47 トランプ米大統領

「ハセット米大統領経済諮問委員会(CEA)委員長は近く辞任する」

3日 19:21

「税金を払わないようにするため、米国を含め多くの企業が中国から去っている」

3日 10:51 麻生財務相

「消費税の延期、国債格下げを覚悟しないといけない」

3日 12:27 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁

「利下げの可能性について辛抱強く臨む」

「米経済は非常に良好な状態にある」

「関税政策はインフレ率の小幅な上昇圧力になる」

3日 17:22 アルバイラク・トルコ財務相

「インフレの低下トレンドは継続しており、年末には目標に到達するだろう」

3日 20:49 エブラルド・メキシコ外相

「ホワイトハウスとの協力の継続をコミット」

「メキシコは数千もの米国への移民到達阻止を支援している」

「米国との良好な関係を築く機会を見込む」

4日 01:50 コンテ伊首相

「各党が協力しない場合、辞表提出する」

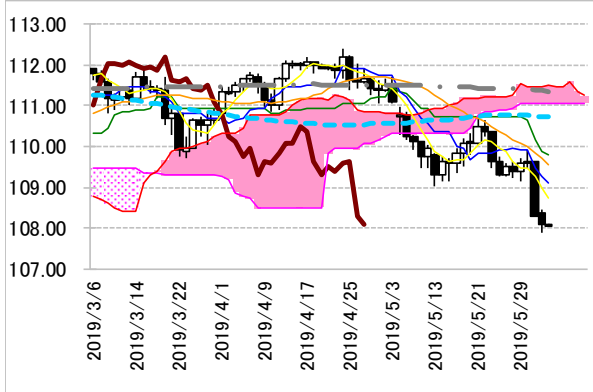
「政権がいつまで続くか確信ない」

4日 02:27 ブラード米セントルイス連銀総裁

「近く利下げが適切になる可能性」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

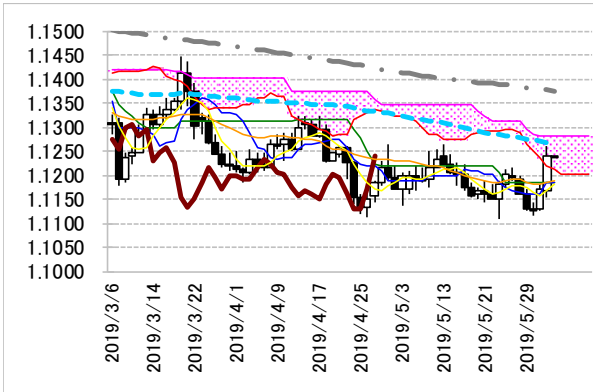


<ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。ダブルトップ（112.14円・112.40円）形成後の窓（111.07円・110.96円）空け、目標値107.02円を目指す下落トレンドを形成中。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	109.12(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	108.07
サポート1	107.77(1/10安値)
サポート2	107.52(1/4安値)

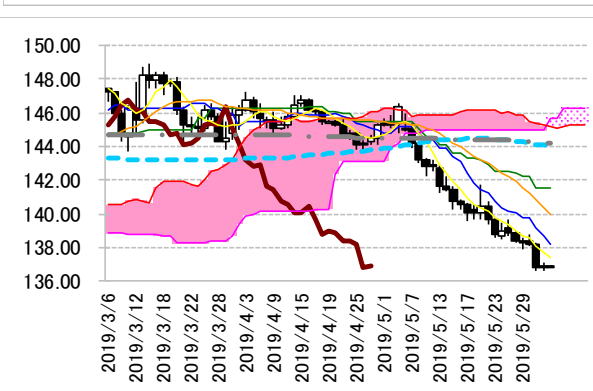


<ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回っているものの、遅行スパンは実線を上回り、雲の中で推移し、一目・転換線を上回っていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。底値圏での抱き線、三川明けの明星、2手連続陽線で反発の可能性が高まりつつある。

本日は、一目・転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1280(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1241
サポート1	1.1185(日足一目均衡表・転換線)

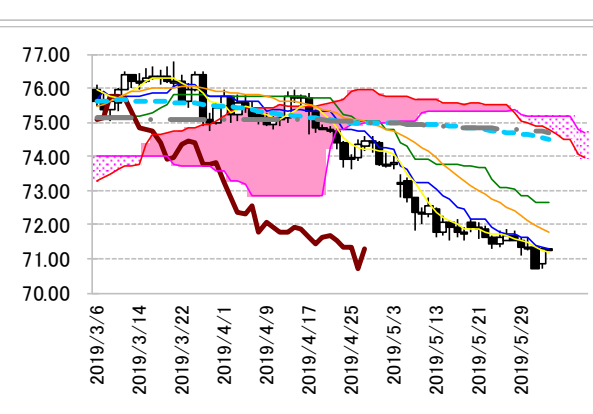


<ポンド円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	138.17(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	136.87
サポート1	135.82(1/4安値)



<NZドル円＝5/31安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、底値圏での孕み線により、反発の可能性が示唆されている。

本日は、5月31日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	72.65(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	71.30
サポート1	70.68(5/31安値)

